

御社も「岩佐メソッド」を採用して、
真に“お金を残す”経営を。



【商品内容】

- ①本編「お金を残す税務・財務(得)戦略マニュアル」マニュアル1冊
 - ②別冊「お金を残す社長 51の習慣」ハンドブック1冊、オーディオCD 2枚
 - ③特別付録「社長のお金を残す力“養成”講座」DVD3枚、資料1冊
- 2007年10月19日発行 ■発行:日経BP社



FAX.03-5696-3370

(24時間受付中)

必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

『社長のお金を残す 財務プロジェクト 作戦指南書 完全版』					セット
定価:94,500円(税込)→ 会員・読者特価:84,000円(税込) (商品番号170921)					
お名前	(姓)	(名)	フリガナ	(セイ)	(メイ)
会社名ではなく、必ず個人名をご記入ください。					
ご送付先	フリガナ				
<input type="checkbox"/> 勤務先 (ご記入の住所が勤務先の場合 <input checked="" type="checkbox"/> を) <small>※商品を確実にお届けする為、マンション・ビル名等も必ずご記入下さい。</small>					
会社名	ご所属職		会社電話		
自宅電話					
メールアドレス	@				

●お申し込みから約1週間でお届けします。 ●お支払いは、商品に同封する請求書をお願いします。
●ご記入いただいた住所やメールアドレスなどに、事務連絡のほか日経BP社、弊社および日経BPグループ会社から、各種ご案内(刊行物、展示会、セミナー等)やアンケート、広告主等の製品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。

お申し込みコード 44-445010

お電話でもお申し込みを承ります。

フリーダイヤル

21世紀を丸ごと読む

0120-210546

携帯・PHSからは **03-5696-6000**

日経BP社 読者サービスセンター (申込受付専用6:00~22:00、年中無休)

社長のお金を残す

完全版

財務プロジェクト 作戦指南書

「知っているか、知らないかで
すごい差がつく! 財務の知恵

オーナー社長のための マネー羅針盤 効果絶大!

- ✓ 税務調査から会社のお金を守る実践的なノウハウを知りたい。
- ✓ 大企業と中小オーナー企業の経理の本質の違いを知りたい。
- ✓ 役員報酬のかしこい設計法を知りたい。
- ✓ 社長の実質手取り額を最大化するパターンを知りたい。

御社も「岩佐メソッド」を採用して、
真に“お金を残す”経営を。



■講師: 岩佐 孝彦(いわさ たかひこ)
株式会社トップ財務プロジェクト・岩佐会計事務所 代表
税理士 財務コンサルタント 中小企業診断士
1969年兵庫県生まれ。大阪市立大学卒業後、マーケティング専門の経営コンサルティング会社勤務を経て、管理会計・相続事業承継対策を得意とする会計事務所勤務後、独立。顧問税理士契約を「経営者の夢の実現を継続的に支援する壮大なプロジェクト」と定義づけ、会社と個人の両面からお金を残す力の養成に心血を注ぐ。また、決算書の数字の裏を読み、数値に変えた課題解決のためのヒントに落とし込む、独自のコンサルティング手法で多くの実績を上げている。各種講演・セミナー講師としても活躍中。著書に「社長のお金を残す力“養成”講座」(日経BP社)、「小さな会社の社長のお金を残すために絶対必要な本」(九天社)、「社長は「会社のお金」をこう残せ!」(日本実業出版社)がある。

ただの節税じゃない!

「岩佐メソッド」採用社長のナマの声

- ★機械部品製造業★ 巷の教科書に書かれている大企業向けの財務の話にうんざりしていたところで、「岩佐メソッド」に出会った。まさに目からウロコで、何か今までのモヤモヤがスッキリした気がする。
- ★アパレル製造販売業★ 知らないことの恐ろしさを身にしみて感じた。売上さえ上げていけば、経営は何となるという従来の考え方がいかに甘かったかを痛感させられた。
- ★飲食業★ 上場を目指して、チェーン展開を急速に図っている中で「岩佐メソッド」に出会った。上場準備を進めるプロセスの中で、会社&個人のお金を守ることがいかに大切かがわかった。
- ★広告代理業★ 営業や商品企画には大きな自信があったが、財務はどうもピンと来なかった。導入後、儲けを次のビジネス投資に回せるお金の流れをうまくつくる事が出来た。
- ★建築工事業★ 分社化して、グループ経営をしたいと以前から考えていた。最新の法律スキームを知って、ビジネスの切り張りが自由自在にできることに驚いた。
- ★不動産業★ 最近の税金の動きを見たり聞いたりしていて気が重かった。しかし「岩佐メソッド」に出会って、一気に目の前が明るくなった。
- ★システム開発会社★ お金という汚いイメージがあったり、税務署が正直怖かったが、きれいにお金を稼いで、正々堂々とお金を残したいと本気で思えるようになった。

会社と個人の両面から
お金を残す知恵を伝授いたします。



「社長のお金を残す 財務プロジェクト作戦指南書 完全版」

本編 「お金を残す税務・財務(得)戦略マニュアル」



- I 世間の常識は失敗している会社の常識?**
 - ①税金を払わないと、内部留保は貯まらない?
 - ②大企業と中小オーナー企業の経営の本質の違いを理解しているか?
 - ③偽り=人の為?
- II 中小企業大増税から会社を守る方法**
 - ①新会社法の光と影
 - ②社長のお金の「2大ビッグイベント」～2006年の法律の動き
 - ③中小企業大増税で社長のお金は八方ふさがり?
 - ④社長の給与が100%会社の経費で落ちなくなった!
 - ⑤役員報酬の期中増額は完全にアウト!
 - ⑥非常勤役員の前払い給与は完全にアウト!
- III 会社のお金をかしく「社長のお金」にする方法**
 - ①中小オーナー企業は会社と社長個人は表裏一体だ!
 - ②社長なら会社&個人の税金をトータルで考える習慣を身につけよ!
 - ③会社のお金を社長個人に移転する「6つの名目」とは?
 - ④もらい方で違ってくる! 社長の実質手取り額
 - ⑤実質手取り額ダントツ1位はコレだ!
- IV 税務調査から会社のお金を守る方法**
 - ①税務調査=ビジネス交渉?
 - ②会社の経費は3つの色に分けなさい!
 - ③ことなかれ主義? こと起こし主義?
 - ④調査で狙われやすい項目ベスト10とは?
 - ⑤税務調査の“風林火山”戦法
 - ⑥節税で失敗しないための魔法の質問とは?
 - ⑦「見える化」で税務署と付き合おう!
 - ⑧法の抜け穴を突こうとするな! 優遇税制を正々堂々と100%使え!
- V 決算対策で絶対失敗しない方法**
 - ①決算申告は全会社共通の法律で義務付けられた「年一回の恒例行事」
 - ②「有頂天から始まる地獄」にならない決算対策を実行せよ!
 - ③良い節税・悪い節税・普通の節税とは?
 - ④あなたの会社の決算月は何となく決められていないか?
 - ⑤最も理想的な決算対策メニューとは?
 - ⑥緊急予備資金としても使える決算対策とは?
 - ⑦接待交際費はこう使えば、100%経費で落ちる!

- VI 役員報酬のかしこい設計法**
 - ①社長の給与が100%経費で落ちなくなった 改正への「3つの対応策」
 - ②社長が給与をもらっても会社の経費で落ちる?
 - ③役員報酬のかしこい設計法とは?
 - ④役員貸付金は愚の骨頂?
 - ⑤決算申告時に過去思考だけで終わると痛い目に遭う?
- VII 役員退職金対策をかしく進める方法**
 - ①社長の退職金は最低でも6000万円以上?
 - ②役員退職金を1つの会社から2回もらう方法
 - ③税務調査で問題になる退職金の留意点
 - ④退職金の財源を自動的につくる方法
 - ⑤社長のリタイアメント・プランは明確か?
- VIII 分社化のツボ究極の複数分散攻撃を仕掛ける!**
 - ①お金が残る会社の機関設計パターンとは?
 - ②分社化のススメ～新会社法を活用した経営スタイル
 - ③やはり小さくビッグに稼げ!～これからの経営のキーワード
 - ④分社化のネタはあるか?
 - ⑤別会社のビジネスモデルはこう考えよ!
 - ⑥別会社に「個人」で出資した場合のメリット&デメリット
 - ⑦別会社に「法人」で出資した場合のメリット&デメリット
 - ⑧会社分割とは?～中小オーナー企業でも簡単に事業の切り張り
- IX 事業承継はこう進めよ!**
 - ①自社株の紙爆弾はこう予防せよ
 - ②後継者個人の懐を痛めなくても、経営権を渡す方法
 - ③会社分割のスキームを活用して、事業承継を進める方法
 - ④完全引退しなくても、事業承継できる方法
 - ⑤金を残すは下策、仕事を残すは中策、人を残すは上策
- X 会社のお金の守護神となる「究極の決算書」とは?**
 - ①2色がバランスよく配色された決算書が芸術品?
 - ②「儲かる経営」だけで満足してはいけない!
 - ③会社で稼いだ利益をいかに社外流出させないかが社長の手腕
 - ④3年後に同じ利益でも稼ぎ方で税金は変わる!
 - ⑤含み損を抱える資産は売ってしまえ!
 - ⑥簿外の「見えない負債」を表に出せ!

岩佐メソッドを「習慣」に染み込ませる ハンドブック&CD 「51の習慣」がオーナー社長の血となり肉となる



別冊 「お金を残す社長 51の習慣」

- 1 お金の真の姿は「残した額」であることを心得る
- 2 世間の常識に振り回されない
- 3 最小のリスクで最大のリターンを考える
- 4 経営のツボを押さえた数字センスを身につける
- 5 コツコツ一生懸命働くだけでお金は残らないことを心得る
- 6 「企業=環境変化適応業」の意味をお金に落とし込む
- 7 “公私並行”の心を持つ
- 8 「社長のお金=会社を守る最後の砦」であることを心得る
- 9 自分がある程度満足できる物欲の大きさを予め決めておく
- 10 家族に対し、「社長のお金の真実」を言って聞かせる
- 11 自分の懐は“4つのポケット”に分ける
- 12 会社は、社長ではなく、社員が輝く場所であることを心得る
- 13 税金は、会社&個人のトータルで考えるクセをつける
- 14 決算申告時は過去思考だけで追われない
- 15 実質の手取り額ベースで考えるクセをつける
- 16 会社からのお金のもらい方の6パターンを頭に入れておく
- 17 プラス思考だけでなく、マイナス思考を持つ
- 18 「有頂天から始まる地獄」という宿命を肝に銘じる
- 19 毎月の儲けを月次決算書で早く見るクセをつける
- 20 年2回は税金を意識して月次決算書を見るクセをつける
- 21 稼いだお金を社外に出さないことも経営手腕の一つと心得る
- 22 平均月商の2カ月分の現金キャッシュを常に持つ
- 23 万一のときにお金を引っ張ってこれるルートを多く持つ
- 24 複数分散攻撃を仕掛ける
- 25 大企業と中小オーナー企業の本質の違いを心得る
- 26 「自社株=紙爆弾」であることに注意を払う
- 27 事業ステージによって経営スタンスを变幻自在に操る
- 28 節税チャンスは100%活かすスタンスを持つ
- 29 税務署の目を必要以上に恐れない
- 30 グレーゾーンとかしこく付き合う
- 31 “こと起こし主義”で決算申告を行う
- 32 節税のシナリオは経済的合理性をキーワードに考える
- 33 法の抜け穴を突かず、国の優遇税制を正々堂々と使い切る
- 34 銀行対策と節税対策の両立を考える
- 35 節税しすぎて、かえって資金繰りが苦しくならないようにする
- 36 月別の売上の推移は意図的に“右肩下がり”にする
- 37 売上を精度高く読む努力を怠らない
- 38 「継続こそ力なり」よりも「力があるからこそ継続できる」と考える
- 39 安売りの怖さを知る
- 40 ケチケチ精神で経費と付き合い合わない
- 41 投資コストを100%生き金にする
- 42 中古の美学を持つ
- 43 寝ているお金をたたき起こすシステムを持つ
- 44 会社の資産を100%儲けに貢献させる
- 45 「言い値」だけで満足せず、「言い払い」まで詰める
- 46 お金の掟をどんな時も貫き通す
- 47 “いい人”に絶対ならない
- 48 無理を言った仕事は値切らない
- 49 資産とは何かを頭に叩き込む
- 50 お金の品格を持つ
- 51 お金は引き出しても、信頼だけは引き出さない

特別付録 「社長のお金を残す力“養成”講座」

「岩佐メソッド」の完全セミナーを本番さながらで受講できます

6時間に渡るセミナーをDVD3枚に凝縮して収録した特別付録。セミナーで使用した資料を付属しているので、実際のセミナーとまったく同様に受講することができます。



※DVDは日経ベンチャー経営スクール名古屋(2007年5月15日)の様相を収録したものです。